



みみだより



第5号

2023. 9. 12

埼玉県立特別支援学校

大宮ろう学園 聴覚支援部

9月、10月は 補聴器点検月間



今年の夏も暑かったですね。東京では9月7日で真夏日が64日連続となり、過去最高を記録したそうです。これからもしばらくは30℃を超える暑さが続きそうですが、ここで一度補聴器を点検してみてもいいでしょうか。

<自己点検内容> 中高生は自分でやってみよう！

- 補聴器のチューブは古くなると固くなり、抜けたり裂けやすくなります。
⇒自立活動準備室で無料で交換できます。
- 聞こえにくい時には、チューブの中に水滴がないか確認。
⇒こよりで水滴を取りましょう。
- イヤーマールドの点検 フック、補聴器ケースなどの様子の確認
⇒イヤーマールドが割れていない？ フックがゆるくない？ 乾燥剤は大丈夫？
- 電池ボックスの汚れを確認。汗でサビつくことがあります。
⇒特に中高生は部活動でたくさん汗をかいたと思うので、必ず確認しよう。

自己点検をして解決しない時には、自立活動準備室に補聴器を持ってきてください。以下のような対応をします。

1 汗の影響で、音が出なくなっていると思われる場合

「補聴器乾燥機（真空乾燥）」で乾燥しています。

補聴器内部まで進入していない場合は、元に戻ります。また、より長時間乾燥（除菌もできる）させることもあります（リニュードライヤ）。乾燥しても音が出ない場合は修理となります。



2 電池ボックス内のサビ 電池のサビ

アルコールをつけた綿棒で拭き取っています。

電池を入れてもスイッチが入りにくい場合は、修理となります。



3 イヤーマールドの汚れや壊れ

耳垢が詰まっている場合があります。自立活動準備室に「超音波洗浄機」があります。強力な洗浄機ですので、一度洗えばすぐにきれいになります。

イヤーマールドが割れたりL字ジョイントが外れそうな時、レジンという溶剤で応急処置をすることが可能な場合があります。

- ☆ イヤーマールドや補聴器の故障が見つかりましたらご家庭へ連絡をしますので、役所の福祉課に相談し、補聴器業者に修理・イヤーマールドの作成を依頼してください。（学校の補聴相談日に依頼することも可能です）

補聴器修理の流れ

1. 居住地役所の福祉窓口に「修理申請書」を提出する。
(補聴器の修理の際には、医師による意見書は必要ありません)
2. 補聴器業者に補聴器を修理に出し(補聴相談日に学校を通して業者に出すことも可)
「見積書」を作成してもらう。見積書は業者より役所に提出される。
3. 補聴器の修理が認められれば、役所から「支給決定通知書」と「支給券」が
交付される。
4. 「支給券(記名・捺印)」を業者に提出する。
5. 補聴器業者より請求書が送られるので、お支払いいただく。
6. 補聴器を受け取る。

- * 実際の手続きや利用者負担金については、各市町村福祉窓口にてご確認ください。
- * 「イヤモールドの作成」の手続き等の流れもほぼ同様ですが、意見書が不要な市町村も増えてきました。補聴器本体の修理に関しては、意見書不要な市町村もあります。詳細は各市町村におたずね下さい。

9月の補聴器相談日

13日 リケン神田店

14日 ブルーム大宮店

20日 リオネットセンター大宮店

ブルーム大宮店については、ご希望がある場合はあらかじめお知らせください。

補聴器を修理に出している間は、
代替機を出すことができますので
ご安心ください!



補聴器についている「IP〇〇」という数値ですが、これは防塵・防水の保護性能を表す国際規格です。最近の多くの補聴器は「IP68」となっています。左の数字は防塵等級で、6級は「粉塵が内部に入らない」、右の数字は防水等級で、8級は「継続して水没しても内部に浸水しない」という意味を表しています。これはどちらも最高のレベルです。ただ、例えば汗をかいたり結露が起こったりして内部に水が発生してしまい、それを長時間放置してしまうとやはり故障の原因になります。ですので、結局のところは普段の管理が大切です。特に就寝前にはきちんと乾燥剤と共に保管し、その日の水分はその日のうちに乾燥を心がけましょう。